

# 第9回 原子力道場

## 原子力基礎教育シリーズ・セミナー

### テーマ「被災地域からの復興支援レポート」

茨城大学よりTV講義配信

開催日 2015年

12月22日(火)

会場 全国14拠点大学 **参加費無料!**

北大・八戸工大・茨城大・東工大・金沢大  
福井大・阪大・岡山大・長岡技科大・名大  
湘南工科大・山梨大・京大・九州大



\*第9回では、金沢大学拠点への配信はありません。

このシリーズセミナーは、大学生・高専生を主な対象として、遠隔TVシステムにより講義配信します。原子力関係以外の方でも地球環境や原子力のことをわかりやすく学べます。ぜひふるってご応募下さい!

主催 / 国際原子力教育ネットワークによる  
戦略的人材育成モデル事業

写真 / 茨城大学水戸キャンパス

[ 申込み・お問い合わせ ]

E-mail / [g-dojog@nr.titech.ac.jp](mailto:g-dojog@nr.titech.ac.jp)

TEL / 03-5734-2188 (塚原・関谷)

参加申し込みはこちらのURLから \*申込み締切

[www.nr.titech.ac.jp/d-atom](http://www.nr.titech.ac.jp/d-atom)

12/21  
(16時まで)



参加申込みはこちらのQRコードからもアクセスできます。

\*この事業は文部科学省「平成27年度 原子力人材育成等推進事業費補助金」によって行われます。

# 第9回 原子力道場 原子力基礎教育 シリーズ・セミナー

## テーマ「被災地域からの復興支援レポート」

TV 講義配信校 / 茨城大学

開催日 / 2015年 12月22日(火)

### <講義プログラム>

\*講義プログラムは当日変更になる場合があります。予めご了承ください。

時間	講義題目	講師
9:00 ~ 9:10	開会の挨拶 / 開催の趣旨	幹事校代表 菊地 賢司 茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター 教授
<b>講義-1</b> 9:10 ~ 10:20	環境社会的視点からの復興支援	原口 弥生 茨城大学人文学部 教授
<b>講義-2</b> 10:40 ~ 11:50	低レベル放射線の生物影響	立花 章 茨城大学理学部 教授
<b>講義-3</b> 13:00 ~ 14:10	残留放射性物質が農産物へ与える影響の評価	小松崎 将一 茨城大学農学部附属フィールドサイエンス教育研究センター 教授
<b>講義-4</b> 14:30 ~ 15:40	福島第一原子力発電所の廃止措置への日立グループの取り組み	松井 哲也 日立GEニュークリア・エナジー株式会社事業企画本部主管技師長
15:40 ~ 16:00	閉会の挨拶 / アンケート調査の説明とセミナーのまとめ	関東 康祐 茨城大学工学部 教授

#### ～ 平成26年度受講生の声 ～

メディアを通して知る情報ではない原子力発電の安全性について、正しい知識を学べた。

(理工系・学部1年生)

危険というイメージがあったが、受講してみてもアクシデント対策がしっかりなされていることや、1つのミスが多段階に分けることで大きな事故に繋がらないようにしていること等、学ぶ事が沢山あり、今後の原子力に関するイメージが変わった。

(理工系・学部3年生)

参加申し込みはこちらのURLから \*申込み締切 12/21  
[www.nr.titech.ac.jp/d-atom](http://www.nr.titech.ac.jp/d-atom) (16:00まで)



第8回TVセミナーにて  
(八戸工業大学)



第7回TVセミナーにて  
(山梨大学)

[原子力基礎教育シリーズセミナー事務局]

所在地 / 〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 (N1-15)

東京工業大学 原子炉工学研究所 国際原子力人材育成事業

「国際原子力教育ネットワークによるモデル事業」 大学連合人材育成

E-mail / [g-dojo@nr.titech.ac.jp](mailto:g-dojo@nr.titech.ac.jp) TEL / 03-5734-2188

ホームページ / [www.nr.titech.ac.jp/d-atom](http://www.nr.titech.ac.jp/d-atom)

◎このシリーズセミナーは、大学生・高専生を主な対象として、遠隔TVシステムにより講義配信します。なお、一般の方にも受講頂けます。

◎お近くの会場を選んで申込み頂けます。

各会場の詳細はホームページ [www.nr.titech.ac.jp/d-atom](http://www.nr.titech.ac.jp/d-atom) でご確認ください。

◎講義と講義の間は、システム都合上約20分～30分前後の休憩時間を設けています。

◎拠点会場によりTVシステム環境が若干異なるため、映像・音声の遅れや不具合等が生じる可能性があります。予めご了承ください。